



2026 年 10 月 1 日

NEWS RELEASE

会 社 名 株 式 会 社 ピ ア ズ
代 表 者 名 代表取締役社長 桑野 隆司
(コード番号：7066 東証グロース)
問 合 せ 先 取締役管理部部長 栗田 智代
(TEL. 03-6811-2211)

株式会社 NAJIM works、「NAJIM Personal Agent 構想」を始動

一人ひとりの日常を理解し、行動や人・社会とのつながりを支える仕組みを目指す

第一弾として、シニア向け生活支援サービス「ひよりライフナビ」の開発に着手

株式会社ピアズ（東証グロース：7066）のグループ会社である株式会社 NAJIM works（本社：東京都港区、代表取締役：吉井 雅己、以下「NAJIM works」）は、AI・人・コンテンツ・コミュニティ・接客・リアルな接点を組み合わせ、一人ひとりの日常に寄り添いながら、継続的に理解を深め、その人に合った行動やサービス、人社会とのつながりを支援する「NAJIM Personal Agent 構想」を始動いたします。

本構想が目指すのは、質問に答えるだけの AI サービスではなく、一人ひとりにとって身近な相談相手のような存在である Personal Agent が、利用者との継続的な会話などを通じて、本人の興味や希望、暮らしの状況を理解し、必要な選択肢を整理・提案する仕組みです。さらに、本人の希望に応じて、家族や友人、地域の活動、企業のサービス、専門家などにつなぎ、実際の行動に移すまでを支援します。こうした支援を通じて、Personal Agent が「社会とつながる入口」となることを目指します。

その第一弾として、シニア向け生活支援サービス「ひよりライフナビ」の開発に着手しました。

1. 「NAJIM Personal Agent 構想」が目指すこと

生活の中では、必要な情報が見つかって、それだけでは次の一歩に進めないことがあります。自分に合う選択肢を考える、誰かに相談する、予定を立てる、実際に出かける。NAJIM works は、こうした情報を得た後の行動までを支えることに価値があると考えています。「NAJIM Personal Agent 構想」では、AI による情報整理や提案に加え、必要な場面では人による相談対応も組み合わせ、AI とのやり取りを現実の行動や人とのつながりに結び付けることを目指します（図 1）。

例えば、時間的な余裕が生まれ、「また写真を撮りに出かけたい」と考えるようになった利用者に対して、関心に合う催しや趣味の集まりを紹介し、参加に必要な情報を整理するなど、実際の行動につながるよう後押しします。これは本構想が目指す利用体験の一例です。

一方、一人ひとりに合った支援を行うには、興味や生活習慣だけでなく、これまでの経緯や人との関係も踏まえる必要があります。こうした情報の取り扱いには十分な配慮が欠かせません。NAJIM works は、利用者自身が何を共有し、誰にどこまで伝えるかを決められるよう、本人の許諾に基づいた設計を行います。Personal Agent は本人に

代わって重要な判断を行うのではなく、本人が判断するための情報整理と、希望する相手への橋渡しを担います。

図1 | NAJIM Personal Agent構想の基本構造

本人を継続的に理解し、AIが整え、人が決め、社会につながる。



※図は構想の理解を目的とした概念図です。実際の機能・提供範囲は今後の開発・検証により段階的に決定します。

2. 第一弾「ひよりライフナビ」 — シニア領域から検証を開始

「NAJIM Personal Agent 構想」を具体化する最初の取り組みとして、NAJIM works はシニア向け生活支援サービス「ひよりライフナビ」の開発に着手いたしました。Personal Agent との日常の会話や予定の声かけを入口に、利用者の興味や希望への理解を深め、その人に合った楽しみや行動のきっかけを提案するとともに、必要に応じて家族や友人、地域の活動、企業のサービス、専門家などのつながりを支援するサービスを目指します。

今後は、「日常的に利用されるか」「利用を通じて本人への理解が深まるか」「提案が実際の行動や人とのつながりを生むか」などを検証し、早期サービス提供開始を目指します。

3. 今後の展開 — 個人から企業・地域・行政へ

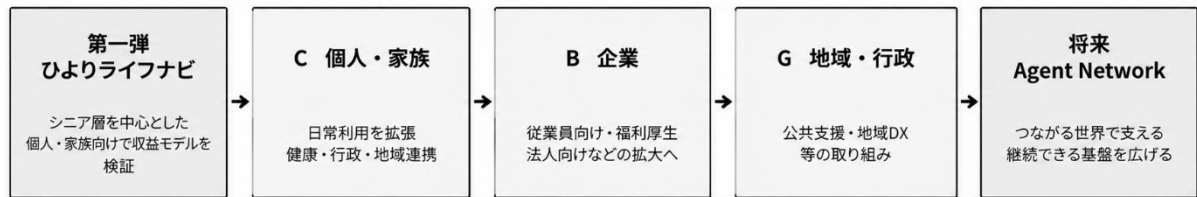
NAJIM works は、「ひよりライフナビ」を起点に、まず個人・家族向けの利用体験を検証し、その成果を踏まえて、企業、地域・行政、専門家、各種サービスなどへ接続領域を段階的に広げていくことを目指します（図2）。

つながる相手が増えることは、単に送客先や販路が増えることを意味するものではありません。本人への理解に加え、人との関係や企業の各種制度、地域の支援制度や相談先など、Personal Agent が理解できる範囲そのものが広がることで、一人ひとりの状況に応じた、より適切な提案や調整を可能にする事業基盤の構築につながると考えています。

本リリースを「NAJIM Personal Agent 構想」の第一報とし、今後、「ひよりライフナビ」の開発・検証・実装の進捗や構想全体の取り組みについて、具体化した段階で順次お知らせします。

図2 ひよりライフナビから広がる構想

まず個人・家族向けで収益創出を検証し、企業・地域・行政へ段階的に利用者層に広がります。



将来的には、個人・家族・企業・地域・行政・専門家などの接点が広がり、複数の相手・サービスをつなぐ「Personal Agent Platform」へ発展する可能性を見据えます。

4. 代表コメント

NAJIM works が目指すのは、AI と会話する時間を増やすことではありません。人の暮らしの中で、その人に必要な情報や人、サービス、社会との接点が自然に届き、生活が少し前に進む状態をつくることです。

「ひよりライフナビ」を通じて、Personal Agent が日常になじみ、新たな行動や人とのつながりを生み出し、一人ひとりにとって「社会とつながる入口」となることを目指します。「新しい体験を、日常になじむかたちへ。」という考えのもと、人と社会の新しいつながり方をつくってまいります。

【会社概要】

会社名：株式会社 NAJIM works

所在地：東京都港区港南2丁目16-4 品川グランドセントラルタワー 15F

代表者：代表取締役 吉井 雅己

設立：2020年11月

資本金：5百万円

URL：<https://najimworks.jp/>

【お問い合わせ先】

株式会社ピアズ IR/広報担当

お問い合わせメール：ir@peers.jp

お問い合わせフォーム：<https://peers.jp/ir/contact>

以上